

□議員名：武野裕司

1 本市の漁港および漁業の現状と今後の支援について

論点	市内の漁業者への水揚げ漁獲量の現状を聞く。
回答	市内には刈屋漁港、高泊漁港、梶漁港、埴生漁港の四つの漁港があり、それぞれの漁獲量については、令和6年の調査結果によると、1年間当たり、刈屋漁港が35.6トン、高泊漁港が3.8トン、梶漁港が3.8トン、埴生漁港が18.7トンの合計61.9トンとなっており、年々減少している。

論点	市外への出荷を余儀なくされている現状についてどのように認識しているか。
回答	現在、市内4か所の漁港において競りが行われていないことは承知している。そのため、市外の市場に出荷されることによって、時間のロスやガソリン代などの燃料費が増加していることは認識している。

論点	燃料が高騰していることで漁師の現状の負担が大きくなっているが、本市としての輸送費やガソリン代の一部を負担することは考えていないか。
回答	燃料価格が高騰している状況があるので、大変な負担をかけているということは理解している。ただ、この費用の一部負担については、現在は考えていない。